



理念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ①認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ②認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④働きがいのある職場づくり
- ⑤職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ①良質な医療を平等に受ける権利
- ②選択および自己決定する権利
- ③意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④十分な説明を受ける権利
- ⑤個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑥個人の尊厳を守る権利
- ⑦通信・面会を自由に行う権利

INDEX

- 表紙** 福井の名所探訪⑨
九頭竜湖(大野市)
- P2** すこやか講座
「高齢者の運転免許証の交付と医療機関の受診について その1」
- P3** 家族は今
「家族でいきる」
- P4** THE病棟
第50回 日本看護学会
精神看護学術集会 発表
- P5** デイケアだより
- P6** トピックス
新人紹介・RUN TOMO 2019
- P7** 講演会のご案内
2019年度栄養関係功労者
厚生労働大臣表彰
- P8** 令和元年度研修案内(一般・専門職)
11月～令和2年3月



すこやか講座

高齢者の運転免許証の交付と 医療機関の受診について その1

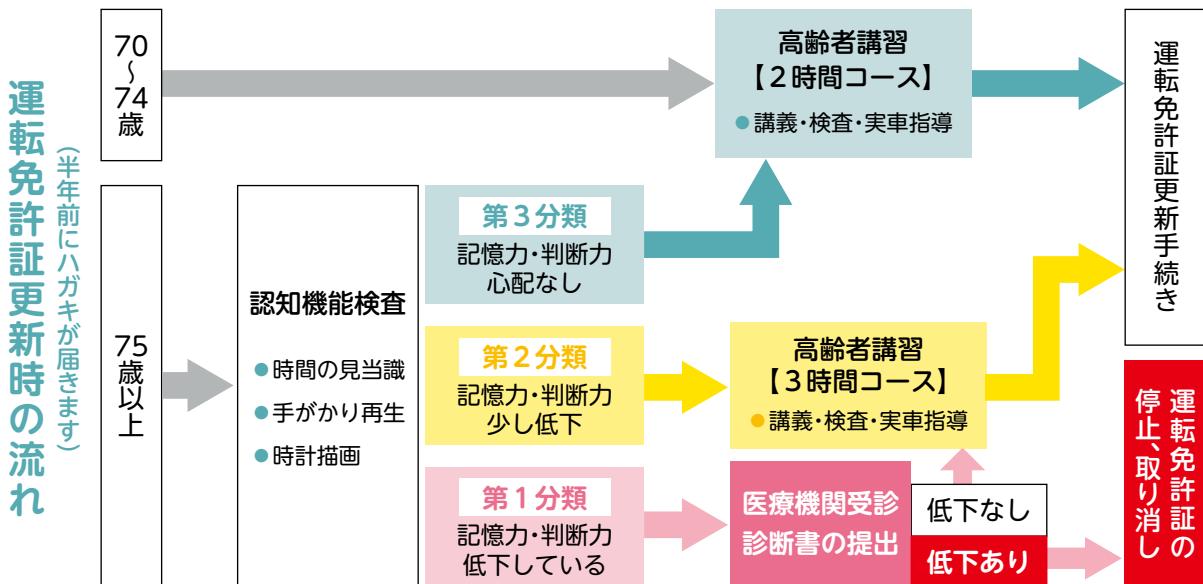
精神保健福祉士 谷口 久良

年齢とともに記憶力や判断力は低下します。肉体的にも体力や視力も衰え、若いときと同じではいられません。近年、高齢者ドライバーによる悲惨な事故のニュースが多く報道されています。そこで、今回は運転免許更新に伴う高齢者講習と医療機関の受診についてお話をさせていただきます。

現在、70歳を超えた運転免許取得者は、免許を更新する前に「高齢者講習」を受講しないと免許証の更新はできません。70歳から74歳までと、75歳以上で講習内容が異なります。

高齢者講習のハガキは更新期間満了日の半年前に自宅へ届きます。70歳から74歳の方は、自動車学校で「高齢者講習会の予約」をします。「高齢者講習会」は混み合っていますので、早めの予約をお勧めします。75歳以上の方は、運転免許センターで「認知機能検査」(日時指定)を受けます。後日、認知機能検査の結果が郵送で届きますが、その後の手続きが各分類によって異なりますので、注意して下さい。

第1分類と判断された方の医師の診断書などの手続きにつきましては、次号でお話しします。





家族は今… 家族でいきる

K・T

「何でこんなになったんやろう。」面会で幾度となくお義父さんが聞いてきます。

「そりや、やっぱり、人生長く生きるとどこかしら悪くなるところがでてきますよ。ウチのばあさんはリンパ、親父は肺のガンになった。お義母さんや近所のおばちゃんは膝にきた。僕も肥満と高血圧と糖尿病には注意して下さいと言われています。お義父さんの場合は、膝や内臓だけでなく、たまたま頭やったんです。MRIで脳に異常が見つかったと言われてこの病院に移ってきたんです。なんでも、県内で今まで3人しかいない病気のようで、薬の調整には時間がかかるようです。先生や病院のスタッフの皆さんのが最善を考えてくれています。僕も、また面会に来るんで、ゆっくり休んで身体の調子を整えて下さいね。」そう伝えて、安心する時もあれば、心配になり電話をかけてくることもあります。

話を聞いていると、時間に沿って整理できていた記憶が意識の中に思うように呼び出せない事が増えているようです。

「さっきまで一緒に外出していたのに、みんな帰ってしまった。迎えに来て。」という電話の背景には『ドアの所で見送った記憶が抜けて、ひとり取り残されてしまった』という焦りや不安を感じている事も解ってきました。

「母ちゃんは元気にしているのかな。母ちゃんに会いに実家に行く。」と云うことも聞きます。すでに他界しているお義母さんの葬式や法事に参列した記憶は抜け落ちたものの、お義母さんの存在は心と頭の中に残っているようです。

お墓参りを目的とした外出を何度も行っています。墓石の前で「お義母さんは他界しましたが、お義父さんも葬式と法事にはちゃんとでていましたよ。」と声をかけ、お義父さんが忘れていた事実を伝えました。

自分が誰なのか、何者なのかが分からなくなったりしたときは不安になります。誰から自分が何者であるか教えてもらうと、少しホッとします。自身の行動だけでなく、他者との関わりや証明で自分の立ち位置が定まります。自分という単語に「自ら」を「分かちあう」という漢字がつかわれている理由が少し理解できた気がします。

今後もお義父さんの記憶が薄れ、認識と周囲の事実が一致しないことが出てくると思いますが、不安を減らせるよう、できる範囲で妻や子供達、家族と共にサポートしていきたいです。



The 病棟



第50回 日本看護学会 —精神看護—学術集会

第50回 日本看護学会—精神看護—学術集会が福井フェニックスプラザにて開催され、当院からは4つの研究が選ばれ、口頭発表とポスター発表を行いました。



スタッフの意識統一で転倒事故を防止する取り組み

看護師 荒井 岐枝

私は昨年4月より学会の準備委員として準備に携わってきました。そのため学会が地元福井で開催されたことや、発表が出来たことをうれしく感じます。今回、『スタッフの意識統一で転倒事故を防止する取り組み』という内容で発表させて頂きました。転倒事故はどこの病院でも起こっており、興味を持って聞いてくださる方も多くおられました。今後も転倒防止に向けて取り組んでいきたいと思います。



悪性の社会心理を考えるワークショップ実施の効果について

看護師 和田 博之

認知症の方が周囲から差別され、分かろうとされず無視されるといった人間性を奪われる体験のことを悪性の社会心理といいます。今回は悪性の社会心理の事例を用いてスタッフへワークショップを実施し、その効果について発表しました。ワークショップ参加後は、私たちのケアが相手や自分にもたらす良い効果が抽出されました。この研究で得られた結果をもとに、認知症ケアの質の向上に向け努めていきたいです。

認知症高齢者の意向を取り入れたデイルームの環境づくり

看護師 前川 惣予

今回、初めて大きな学会で発表する事になりました。精神看護という事で認知症以外の精神疾患の現状を知ると共に、基本である「対話を重ね、心に寄り添う」ケアが患者さんにとって重要な看護であることを再認識する事が出来ました。自分の発表がどれだけ他県の看護師に刺激を与える事が出来たのか気になる所ですが、自分も学会で受けた刺激を現場で活かせる様努力しつつ、患者さんとの対話を重ねていきたいと思います。



在宅退院に向けての取り組み

看護師 中防 千恵

福井は長寿・同居世帯・共働きの世帯が多くみられる特徴があります。今回はそんな家族構成から巻き起こった、曾祖母対曾孫の日々の喧騒が問題点となった事例報告をさせて頂きました。子供たちは、認知症の曾祖母の行動に戸惑い、対応に苦慮していました。在宅退院に向け行った家族指導で穏やかな家族の時間を取り戻すお手伝いが出来た事は、家族にとっても現場の看護師にとっても喜ばしいことでした。

ディ・ケアだより

7月 暑中見舞いはがき作り

徐々に暑さを増す季節。金魚や朝顔、カブトムシなどの切り絵をはがきに貼つて、思い思いの暑中見舞いのはがきを作りました。

何度もはがきに切り絵を載せてバランスを考えたり、中にはご自分で筆ペンを使って文字を書いて作成したりする方もいました。

夏の暑さも気にならなくなるくらい爽やかで素敵なはがきができました。



素敵ね!
かわいいわー!

8月 コカリナ演奏会

例年に続き、今年も『コカリナアンサンブルひがし』さんに来ていただき、コカリナの演奏会を行ないました。「上を向いて歩こう」「瀬戸の花嫁」「ふるさと」等を演奏してもらいました。懐かしい歌と綺麗な音色に、利用者様も一緒に歌を口ずさんでいました。

「故郷を想像して懐かしくなったなあ」との声も聞かれました。



9月 敬老(老)会

9月は敬老の日がありますが、デイケアに来ている方はまだまだ元気で敬老という言葉は似合わない!ということで、敬老改め、「敬老会」を行ないました。

おやつのカステラ等に、フルーツや生クリームなどをトッピングして賑やかにデコレーションをしました。

「おいしいね」「生クリームなんて久しぶり」と話す方も。皆さんでワイワイおしゃべりしながら頂きました。

皆さんこれからもまだまだ元気に明るく、楽しんで過ごしましょうね♪

これからも
元気でいてくださいね♪



トピックス

はじめまして!!



新入職員紹介



東病棟看護師
谷口 豊和

令和元年8月より、すこやかシルバー病院東病棟で勤務させていただいています、谷口豊和と申します。以前、当院で2年間看護助手をさせていただいていました。

その後、看護師免許を取得し、以前と同じ病棟で働かせていただいております。以前と違い日々看護師として働くことの責任の重さを痛感しております。しかし、以前より患者様の症状や思いと向き合うことができるようになり、より一層やりがいを感じています。

今後も患者様やご家族が幸せに生活していくように、力になることができる看護師になっていきたいと思っています。まだまだ力不足ではありますが、一生懸命頑張っていきます。今後ともよろしくお願い致します。



RUN TOMO 2019



9月21日の世界アルツハイマーデーに併せ、RUN伴(ランとも)が行われました。RUN伴は、認知症の人や家族、支援者、一般の人がリレーをしながら、ひとつのタスキをつなぎゴールを目指すイベントです。あいにくの小雨が降る中、すこやかシルバー病院をスタート、施設や認知症カフェ『心愛』を経由し、ゴールのショッピングシティベル（福井市のショッピングモール）までタスキをつなぎました。途中、各施設の休憩所では、利用者さんやスタッフの方々から、あたたかい声援やおもてなしをしていただき、とてもありがとうございました。これから、ますます認知症の方を地域で支え合うことができるよう、普及啓発に努めていきたいと思います。



福井県立すこやかシルバー病院講演会

認知症の正しい理解と 効果的な予防

日 時

令和元年11月30日土
13:30~15:30

会 場

福井県生活学習館(ユー・アイふくい)
多目的ホール [福井県福井市下六条町14-1]

講 師

鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座・環境保健学分野教授
日本認知症予防学会理事長

浦上 克哉 氏

内 容

- 認知症早期発見のためにできること
- 認知症について知っておきたいこと
- 自分でできる認知症予防
- 認知症の人とのコミュニケーション

申込方法

①はがき

氏名、電話番号を記入し、「講演会申込」と明記の上
〒910-3623 福井市島寺町93-6

福井県立すこやかシルバー病院
までお送りください。

②FAX

氏名、電話番号を記入し、「講演会申込」と明記の上
FAX.0776-98-2793 までお送りください。

③電 話 TEL.0776-98-2700

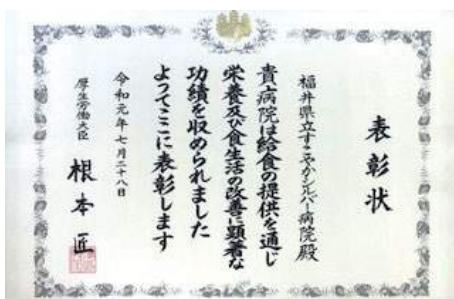
参加無料

事前申込を
お願い致します



2019年度 栄養関係功労者 厚生労働大臣表彰

全国栄養改善大会（主催：公益社団法人 日本栄養士会）が2019年7月28日に開催され、当院の栄養管理室が
※特定給食施設部門で表彰されました。今回、特定給食施設で表彰の対象となった施設は全国で21施設であり、その
うち北陸地方では当院のみでした。これからも委託スタッフと協力し、日々患者様に満足して頂ける食事内容や食環境
づくりに努めていきたいと思います。



特定給食施設(給食の管理運営が特に優秀であり他の模範となるもの)

部門での表彰基準

- ★ 特定給食施設としての実績を10年以上有する施設であって、栄養改善のための効果が顕著であること。
- ★ 合理的な給食管理組織が確立されており、円滑な運営がなされていること。
- ★ 喫食者中心の給食への配慮及び給食改善のための調査研究が行われ、その結果が栄養改善に結びついていること。
- ★ 給食業務の合理化や施設及び設備が整備されており、食品衛生監視結果の成績が良いこと。

令和元年度【11月～令和2年3月】 福井県立すこやかシルバー病院研修案内

参加費
無料

一般の方を対象にした研修 研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

一般研修はお電話でお申込みできます。お名前（フルネーム、漢字）、連絡先、参加希望研修名をお伝えください。

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講 師	定員
認知症の人の困りごとを知る	11月15日金	13時30分～15時	●認知症の人が生活の中で困っている内容について ●認知症の人が介護者に望んでいることについて	福井県立すこやかシルバー病院 認知症看護認定看護師 和田敏道	50名
認知症の基礎知識 (医師の講義)	12月3日火	13時30分～15時	●認知症の原因となる病気と症状について ●認知症の診断において必要な情報、認知症の治療について	福井県立すこやかシルバー病院 診療部長、医師 村田憲治	50名
認知症の方とのコミュニケーション	12月6日金	13時30分～15時	●認知症の方の特徴、心理状態 ●認知症の方とのコミュニケーションのポイント	福井県立すこやかシルバー病院 認知症看護認定看護師 荒井岐枝	50名
認知症の基礎知識と対応のポイント	令和2年 2月28日金	13時30分～15時	●認知症の症状 ●認知症高齢者の対応のポイント	福井県立すこやかシルバー病院 看護師 吉岡郁子	50名
心も体も元気に健康に～認知症の理解、予防、支援～	令和2年 3月16日月	13時30分～15時	●認知症の危険因子 ●脳を鍛える対策 ●心と体を元気にする活動、実演	福井県立すこやかシルバー病院 作業療法士 下口さゆり	50名

参加費
無料

ケア専門職の方を対象にした研修 研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

専門職研修の申込方法は、当院ホームページ「介護教育のご案内」をご参照のうえお申込みください。

定員を超える研修が多いため、当院ホームページで申し込み状況をご確認ください。

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講 師	定員
認知症高齢者の転倒予防	11月7日木	13時30分～16時30分	●認知症の症状と転倒に関連する症状 ●認知症高齢者の転倒の特徴 ●認知症高齢者の転倒予防のための工夫	浜松医科大学医学部看護学科 教授 鈴木みづえ氏	70名
認知症の方のBPSDに対する対応の考え方	11月11日月	14時～16時30分	●認知症の方のBPSDに対する対応の考え方について ●グループごとに認知症の方のBPSDの事例を通して対応を話し合う	認知症介護研究・研修仙台センター 副センター長 東北福祉大学総合福祉学部 准教授 阿部哲也氏	60名
認知症の方のBPSDに対する対応の考え方 (11月11日と同じ内容です)	11月12日火	9時30分～12時	●認知症の方のBPSDに対する対応の考え方について ●グループごとに認知症の方のBPSDの事例を通して対応を話し合う	認知症介護研究・研修仙台センター 副センター長 東北福祉大学総合福祉学部 准教授 阿部哲也氏	60名
認知症高齢者への作業療法	11月20日水	13時30分～16時30分	●認知症高齢者の作業療法の実践方法、注意点	大阪保健医療大学保健医療学部 准教授 井口知也氏	70名
身体拘束廃止の課題と実践	12月9日月	14時～17時	●身体拘束の具体的行為、事例 ●身体拘束を廃止するために必要なこと ●身体拘束廃止に向けた具体的取り組み	認知症介護研究・研修仙台センター 主任研究員 東北福祉大学総合福祉学部 准教授 吉川悠貴氏	60名
養介護従事者等による高齢者虐待防止	12月10日火	13時～16時	●高齢者に対する養介護従事者等による虐待内容、発生要因について ●養介護従事者等による高齢者虐待の未然防止、悪化防止の取り組み	認知症介護研究・研修仙台センター 主任研究員 東北福祉大学総合福祉学部 准教授 吉川悠貴氏	60名
認知症の方との心の対話	12月13日金	13時30分～16時30分	●認知症の人に寄り添い、本来の気持ちを引き出すコミュニケーション	関西福祉科学大学社会福祉学部 教授 都村尚子氏	70名
高齢者の排泄援助	令和2年 3月3日火	14時～16時30分	高齢者の排泄援助 ●排尿・排便メカニズムと高齢者の排泄障害について ●排尿・排便障害のアセスメントとケア	福井赤十字病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 上口美恵氏	70名
高齢のうつ病の方のケア	令和2年 3月4日水	14時～17時	認知症高齢者の排泄援助の実際 ●認知症による排泄行動への影響 ●認知症高齢者への排泄ケアの実際	福井県立すこやかシルバー病院 介護福祉士 杉本衛	70名
認知症高齢者の環境調整	令和2年 3月6日金	13時30分～16時30分	●高齢者のうつ病の症状とケア、アパシーとの相違点 ●認知症高齢者への環境支援の具体的な内容について ●認知症高齢者への環境支援に関する事例	福井県立すこやかシルバー病院 認知症看護認定看護師 和田敏道	70名

令和2年3月中旬以降の研修については、リニューアルライフすこやか冬号に掲載予定です。

お問合せ／福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部 TEL (0776) 98-2700